



本州のほぼ真ん中、 3大都市圏より等距離にあり、便利な 地域です。

道路・鉄道 もっと近く! もっと便利に!

物流の要である高速道路網は、首都圏や中京圏、関西圏と直結しています。東海北陸自動車道が全線開通後、4車線化が進んでおり、中京圏とは整備された北陸自動車道と2つのルートで結ばれています。さらに、舞鶴若狭自動車道は全線開通し、能越自動車道の建設も進むなど、利便性はますます高まっています。また鉄道も、北陸新幹線が敦賀まで開業し、東京-北陸間が2時間台、延伸した金沢-敦賀間は約40分で結ばれています。小松駅と小松空港のアクセスが向上し、主要都市への移動時間が短縮されています。

道路・鉄道路線と主要都市への所要時間

道 路			
	東京	名古屋	大阪
富山	約4時間50分	約3時間00分	約4時間15分
金沢	約5時間20分	約2時間50分	約3時間30分
福井	約6時間30分	約2時間00分	約2時間40分

鉄 道			
	東京	名古屋	大阪
富山	2時間05分*	2時間35分*	2時間35分*
金沢	2時間25分*	2時間9分	2時間9分
福井	2時間51分*	1時間33分*	1時間44分*

※所要時間は、最速所要時間を記載
2024年9月現在

国内空路

東京から飛行機で1時間。
日帰りビジネス圏です。

国内空路と主要都市への所要時間と便数

	東京	福岡	札幌
富山きときと空港	1時間00分	—	1時間30分
小松空港	1時間00分	1時間25分	1時間35分
のと里山空港	1時間00分	—	—

小松空港	のと里山空港	富山きときと空港
東京 10便/日	東京 2便/日	東京 3便/日
札幌 1便/日		札幌 1便/日
福岡 4便/日		
那覇 1便/日		

2024年9月現在

海外へのアクセス

北陸の港、空港は東アジアのゲートウェイとして重要な位置を占めています。

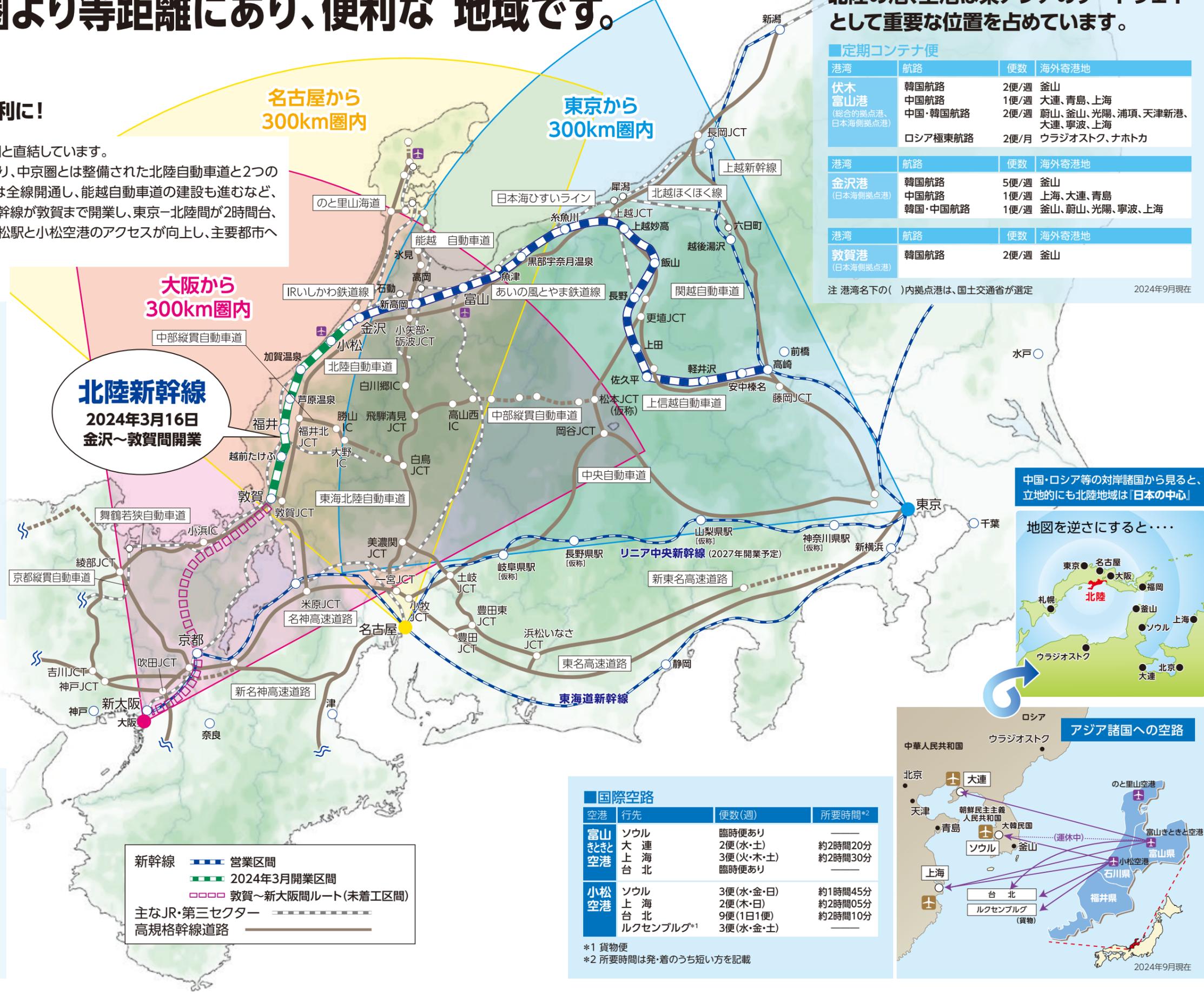
定期コンテナ便

港湾	航路	便数	海外寄港地
伏木 富山港 (総合的拠点港、 日本海側拠点港)	韓国航路	2便/週	釜山
	中国航路	1便/週	大連、青島、上海
	中国・韓国航路	2便/週	蔚山、釜山、光陽、浦項、天津新港、大連、寧波、上海
	ロシア極東航路	2便/月	ウラジオストク、ナホトカ

港湾	航路	便数	海外寄港地
金沢港 (日本海側拠点港)	韓国航路	5便/週	釜山
	中国航路	1便/週	上海、大連、青島
	韓国・中国航路	1便/週	釜山、蔚山、光陽、寧波、上海

港湾	航路	便数	海外寄港地
敦賀港 (日本海側拠点港)	韓国航路	2便/週	釜山

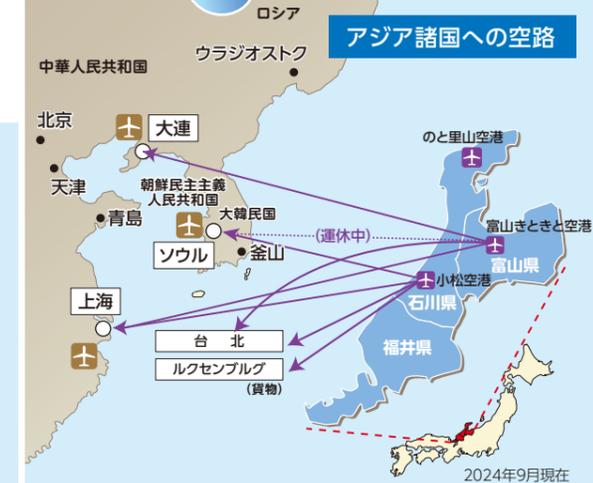
注 港湾名下の()内拠点港は、国土交通省が選定
2024年9月現在



中国・ロシア等の対岸諸国から見ると、
立地的にも北陸地域は「日本の中心」



アジア諸国への空路



空港	先行	便数(週)	所要時間*2
富山 きときと 空港	ソウル	臨時便あり	—
	大連	2便(水・土)	約2時間20分
	上海	3便(火・木・土)	約2時間30分
	台北	臨時便あり	—
小松 空港	ソウル	3便(水・金・日)	約1時間45分
	上海	2便(木・日)	約2時間05分
	台北	9便(1日1便)	約2時間10分
	ルクセンブルグ*1	3便(水・金・土)	—

*1 貨物便
*2 所要時間は発・着のうち短い方を記載

新幹線 営業区間
2024年3月開業区間
敦賀～新大阪間ルート(未着工区間)

主なJR・第三セクター
高規格幹線道路